

### 市内の中学生がスキー全国大会で活躍

#### 全国中学校スキー大会結果報告

第49回全国中学校スキー大会に出場した市内中学校の選手らが2月14日、市役所を訪れ、津谷市長に大会結果を報告しました。

訪れたのは、同大会に出場した木村壮志さん(合川中3年)、藤田菜々瀬さん(同2年)、土農塚世奈さん(同)、戸嶋旭さん(阿仁中3年)、佐藤葵さん(同2年)、佐藤大星さん(鷹巣中2年)の6選手と引率の先生3人。

選手の皆様は、先に行われた秋田県中学校スキー大会や東北中学校スキー競技大会でも上位に入賞するなど活躍し、今回出場した全国大会



▲全国中学校スキー大会で活躍した選手の皆様が大会の結果を市長に報告

でも上位入賞を果たし健闘しました。全国大会のクロスカントリー競技は、2月2日から4日まで北海道中川郡音威子府村(おといねづぶむら)の音威子府チセネシリクロスカントリーコースで行われました。

男子5kmクラシカルでは木村壮志さんが3位、女子3kmクラシカルでは佐藤葵さんが4位、同じく藤田菜々瀬さんが6位と入賞を果たしました。また、女子リレー(3km×4人)

では、北秋田市から藤田菜々瀬さん、佐藤葵さん、土農塚世奈さんの3人が出場した秋田県チームが6位入賞、同じく男子リレー(5km×4人)では、木村壮志さん、戸嶋旭さん、佐藤大星さんの3人が出場して7位入賞と健闘しました。

報告を受け津谷市長は「全国中学校スキー大会の入賞おめでとう。冬は雪の影響や除雪でくたびれてしまいがちだが、皆さんの活躍は我々市民に元気を与えてくれる。これからもスポーツや勉強に打ち込み、周りの人に元気を与えてくれる中学生、高校生になってほしい。皆さんの活躍を期待しています」などと選手の健闘を称えました。

### 内陸線酒井新社長の思いを聞く

#### 平成23年度第1回合川公民館「ろばた講座」

平成23年度第1回合川公民館「ろばた講座」が1月31日、合川農村環境改善センターで開かれ、参加者約50人が講話に耳を傾けました。

ろばた講座は、「明日に向けた社会学」をテーマに地域について理解を深めることなどを目的として、昭和52年から合川公民館が開催している市民講座。今回は、「内陸線に込める思いを語る」走れ内陸線・いつまでも」と題して、秋田内陸縦貫鉄道株式会社の酒井一郎代表取締役社長が内陸線について講話をしました。



▲講話する秋田内陸縦貫鉄道の酒井一郎代表取締役社長

経験や、内陸線の社長公募に応募したきっかけなどを紹介しながら、内陸線について「観光客を集客し内陸線に乗ってもらい、赤字年間2億円以内の目標を達成したい。乗ってもらうためにはそれなりの仕掛けが必要。今でも、いろいろなイベントで観光客の皆さんは内陸線に乗ってくださると思いますが、採算ベースにはまだ足りないのでは、魅力あるイベントを打ち出して観光客が乗ってくれようという鉄道にしていきたい。簡単な言葉で言うと、用事もないのに乗る内陸線、それは乗って楽しい内陸線だからと観光客の皆さんから思ってもらえるようにしたい」など思いを話しました。また、「お金もない内陸線ですので、知恵を使って勝負していきたい。沿線住民の皆さんも、こんな面白い企画があるとか、うアイデアやヒントがあれば、ぜひ連絡をいただきたい」と参加者に協力を求めました。

このあと、トークタイムが行われ、北秋田市内陸線再生支援室の佐藤廣道交通政策監をコーディネーターに参加者と酒井氏が意見を交わしました。

### 「珪藻土」を活用した事業計画が認定

#### 北秋田WATOGA協同組合

北秋田WATOGA協同組合の篠原康夫代表理事らが2月10日、市役所を訪れ、津谷市長に中小企業地域資源活用促進法に基づく地域産業資源活用事業計画が認定されたことを報告しました。

今回同組合が認定を受けたのは、地域資源「珪藻土」と地域で培われてきた「縫製技術」との連携による「珪藻土アイテム」の開発と販売事業。北秋田市で同法による認定事業は初めてで、2月3日に経済産業省東北経済産業局より認定されました。

同組合は、昨年5月から北秋田市の地域資源である「珪藻土」の特徴



▲地域産業資源活用事業計画の認定を報告する篠原代表理事と鈴木プロモーター

である「吸水性」を活用した冷却タオル、「断熱性」や「保温性」を活用した保温マフラーなどの試作に取り組んできました。今後、モニターアンケートなどを行いながら改良して商品化及び販売を目指しています。報告に訪れたのは、同組合の篠原代表理事と鈴木和浩プロモーター。珪藻土を使ったこれまでの試作品や今後の取り組みなどを説明しながら、篠原代表は「地元の人が使わないものを全国の人が使うわけがないので、地元から盛り上げ、それから全国展開を考えていきたい」など今後の抱負を述べました。

報告を受けて津谷市長は「地域資源を使って、もっている技術、ノウハウを活かした事業が認められ、地域の活性化の弾みになっていただければ、夢が広がる展開になりそうなので、情報を共有しながら後押しをしたい」などと今後に期待しました。認定を受けた中小企業者は、専門家によるアドバイスなどのほか、試作品開発や販路開拓に対する補助金、中小企業信用保険法の特例、政府系金融機関による低利融資など支援を受けることができます。

### 市長ダイアリー

◇1月16日～2月15日

- 1月17日(火)▽北秋田市農業再生協議会(本庁舎)
- 18日(水)▽秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会(東京都)
- 19日(木)▽北秋田市企業立地協力推進委員懇談会(東京都)▽在京秋田県人会新春交歓会(東京都)
- 20日(金)▽公明党出前政策調査会(能代市)
- 22日(日)▽鷹巣婦人会新春交流会(中央公民館)
- 23日(月)▽秋田県林業協会統合協議会(秋田市)
- 24日(火)▽阿仁生き生き大学(阿仁ふるさと文化センター)
- 25日(水)▽秋田県農業会議常任会議(秋田市)
- 26日(木)▽菅原直登氏「群馬之図」倉田松涛筆跡「其の式」寄贈(本庁舎)
- 27日(金)▽鷹巣建設技能組合平成24年新年会(中央公民館)
- 29日(日)▽第5回北秋田市民スキー大会開会式(葉師山スキー場)
- 30日(月)▽北秋田市災害対策本部会議(本庁舎)
- 31日(火)▽鷹巣中学校田中一也教諭2011年度文部科学大臣優秀教員表彰受賞報告(本庁舎)▽北秋田市災害対策本部会議(本庁舎)
- 2月5日(日)▽民主党県連との雪害対策意見交換・視察(本庁舎他)
- 6日(月)▽中心市街地検討委員会検討内容報告(本庁舎)
- 7日(火)▽北秋田市高齢者福祉・介護保険事業運営委員会答申(本庁舎)
- 8日(水)▽自民党豪雪災害対策本部との雪害対策意見交換・視察(本庁舎他)
- ▽平成23年度秋田県鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会(鷹巣阿仁福祉環境部)
- 9日(木)▽北秋田市周辺衛生施設組合正副管理者会議・2月定例議会議(衛生センター)
- 10日(金)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議(森吉庁舎)
- 11日(土)▽第18回もちっこ市開会セレモニー(道の駅たかのす)
- ▽第34回北秋田市「建国記念の日」を祝う会(中央公民館)
- 13日(月)▽教育講演会in北秋田市(秋田北鷹高校)
- 14日(火)▽第49回全国中学校スキー大会入賞報告(本庁舎)
- 15日(水)▽東洋精箔株式会社秋田工場願滿稲荷祭(同工場)▽平成23年度第2回医師不足・偏在改善計画策定部会(秋田市)